

2022年7月4日(月) 18:00~19:15

Zoomによる遠隔会議

出席者：14名(理事12名(委任2名含む))

久門、千足、飯島、神田、佐々木、蓬郷、坂、藤本、松本、矢野(18:30~)

菊地(監事)、寺澤(監事)

委任状：國枝、瀧

欠席者：2名(理事2名)

佐野、海野、武田

書記：蓬郷

議事録署名人：千足、藤本

定刻になり、Web会議システムを用いて、理事会が開催された。

久門会長より開会の挨拶があった。

定款26条により、議長として会長(久門)が承認された。

定款27条をもとに定足数の確認が行われ(理事15名中、委任2名を含め14名参加、2/3以上の参加)、議事が成立することが確認された。

議事録署名人は千足常務理事、藤本理事が承認された。

Web会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることが確認されて、議案の審議に入った。

議題

協議事項

1. 学会実行委員会・企画委員会：第11回大会開催形態・企画について

- ・ 藤本実行委員長より、7月1日より東京海洋大学の教室外部貸し出しが可能であり(白鷹館仮予約済み)、現段階では懇親会の開催は難しいことが報告され、対面開催(懇親会なし)ということで準備を進めることが承認された。
- ・ 7月下旬までに会員宛に開催形式を知らせる予定であることが報告された。
- ・ 飯島企画委員長より進捗が報告され、前半は外部スピーカーによるシンポジウム、後半は歴代会長による鼎談およびコロナ禍における活動の実施報告等の内容であることが確認され、承認された。なお、外部スピーカーは3名の候補者がいることが報告され、スケジュール調整も含め準備を進めていくことが確認された。
- ・ 歴代会長による鼎談の内容は、現会長がファシリテーターとして参加しトーク形式とし、7月中に歴代会長と事前打ち合わせをすることが確認された。

報告事項

1. 事務局より、会員動向として賛助会員 1件の入会が報告された。

一般社団法人マリンレスキュー普及協会

2. その他

- ・ 事務局より、総会資料作成に向けて各委員会委員長から事業報告・事業計画・委員会予算請求を提

出いただく予定であることが報告された。

- ・ 寺澤監事より、日本セーリング連盟における SDG's に関連する活動として、アプリを開発しレースにおいてサステナビリティ賞の表彰をするといった取り組みがされていることが情報共有された。

次回理事会予定：2022 年 7 月下旬（学会大会に関するメール審議）

2022 年 8 月下旬～9 月上旬（総会関連・選挙結果）

以上

議長 久門 明人

議事録署名人 千足耕一（原本に自署）

議事録署名人 藤本浩一（原本に自署）